



事業計画名

製品検査精度の向上、
生産効率アップに必要な
自動三次元測定機導入

企業紹介

平成10年に各種精密機械部品製作・加工を柱として鳥取県
岩美町に創業し、平成27年に法人化している。

事業の取組内容

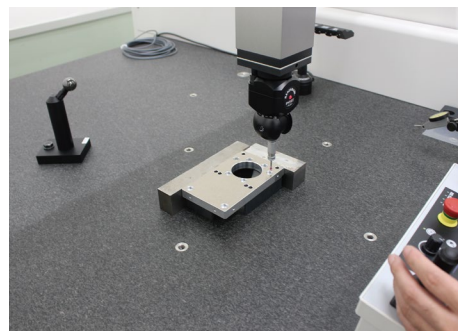
○事業計画の概要

当社の最終検査は加工者が製品加工後に加工機上でダイヤルゲージを使い、精度穴のピッチ等を約10分かけ測定している為、すぐ次の加工へ移れない。自動三次元測定機導入後は、加工者は次の製品製作へ移行出来、1人当たり1日1～1.5時間短縮、更に精度保証でき、高付加価値な製品が出来る。

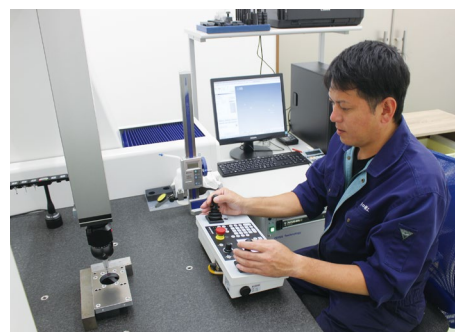
○導入設備

設備：CNC三次元座標測定機

活用方法：加工し出来上がった金属製品の寸法・穴径・穴ピッチ等、高精度に測定し信頼性の高い製品を作り、売上増へと繋げる。



金属製品の寸法・穴径・穴ピッチ等を高精度に測定



事業概要とその成果

○概要

測定時間の短縮による生産性向上と流出品質の維持向上を図り、信頼性確保、優位性獲得による既存取引先からの受注増加と新規顧客の増加のため、高精度な測定機能の自動三次元測定装置を導入した。

○具体的な内容

1.自動三次元測定機導入による生産効率向上

①製品精度向上とリードタイム短縮

同じ加工品の複数回測定結果で検査値のバラつきは少なく、リードタイムが半減した。

②生産効率の具体的成果

工程数は同じだが、製品加工が1時間あたり倍増した。

2.自動三次元測定機導入による付加価値向上

①自動三次元装置導入による流出品質の維持向上と信頼性確保
時間短縮と社内検査段階で穴のピッチ外れ、寸法外れ等を検出し、不良品の社外流出を防止ことが出来た。



CNC三次元座標測定機



かわ ぐち ひろ ゆき
代表取締役 **川口 博之 さん**

今後の可能性と展望は？

近年の受注内容は複雑、かつ加工精度が高い仕上がり要求が強く、加えて短納期化や検査体制が厳しくなっています。当社の受注拡大のネックとなっていた検査体制を改善するため自動三次元測定機を導入し、高度化する納品前の検査・測定に対応することが出来ました。

この自動三次元測定機は鳥取県内では2割程度しか保有していないことから、既存の取引先からの受注増加を図るために各種商談会にて新たな顧客開拓を図っていくつもりです。

自動三次元測定機導入により
製品の精度向上、加工生産数倍増、
リードタイム半減

平成27年度補正 ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金

旋盤加工やマシニング加工など
金属加工、機械加工

(株)川口精工

事業の実施期間 平成28年6月30日～平成28年11月24日

この企業の
「強み」

当社の強みは、加工精度の高さと柔軟な納期対応にある。県内の同規模の同業者と比較してもQCD（「Quality(品質)」「Cost(費用)」「Delivery(引渡)」)の全てにおいて優位性がみられる。特に複雑な加工に対する短納期対応への評価は高く、三次元測定機導入により、更なる高精度製品への対応が可能となっている。

金属製品製造業／省力機械部品・治具の加工・一般機械部品加工

株式会社 川口精工

〒681-0031 鳥取県岩美郡岩美町蒲生1115 Tel.0857-76-0212

